

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成30年度 第3回入間市人権教育推進協議会
開 催 日 時	平成31年2月27日(水) 午前10時開会 午前11時35分閉会
開 催 場 所	入間市役所C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	山口忠友
出席委員(者)氏名	篠塚清治 菅野義彦(途中退席) 齋藤勝久 山田達雄 山口忠友 斉藤俊明 大島光恵 笹尾 彰 寺岡豊博 橋野弘美 矢口洋子 手島吉紀
欠席委員(者)氏名	遠藤 敏 糸井裕介 中沢ますみ
説明者の職氏名	林田社会教育課主事 熊谷学校教育課教育センター主幹 町田人権推進課副主幹
会 議 次 第	委嘱状交付式 1 開式 2 委嘱状交付 3 閉式 第3回入間市人権教育推進協議会 1 開会 ・ 山口会長挨拶 ・ 西澤教育長挨拶 2 協議事項 (1) 今年度の人権教育事業及び各委員からのご意見について (2) 同和問題の概要及び現状について ビデオ視聴「シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻『江戸時代の身分制度と差別された人びと』」 (3) その他 3 その他 4 閉会
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	新見教育部長、関谷教育部次長、片寄社会教育課長、 関谷社会教育課主幹、林田社会教育課主事、関谷社会教育指導員、 熊谷教育センター主幹、町田人権推進課副主幹

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

委嘱状の交付

西澤教育長から、菅野義彦委員に対して委嘱状が交付された。

(任期は平成32年(2020年)4月30日までとする。)

菅野委員自己紹介

- ・ 人権教育に関する本校の現状について、お話を聞きたい。

昨年度まで、本校の人権教育は、長年、同和問題に焦点を絞って教育をしていた。ただ、今のような人権課題があがっている状況を鑑み、今年度は、学年ごとにその内容を少し変えて、1年生では、「性の多様性」ということで「LGBT」の問題、2年生では、「難民問題を中心にした外国人の人権」について、3年生では、「性的マイノリティと女性の雇用問題」から「労働者の人権」について、というようにバリエーションを広げている。

また、職員に対しても、「性の多様性」ということで、本校に限らず多様性を持った生徒がいるという現状について研修会を行っている。

なお、今後、切磋琢磨しながら問題を模索して、研修、教育に携わっていきたいと思っている。今後ともよろしく願いたい。

第3回人権教育推進協議会

- ・ 山口会長挨拶
- ・ 西澤教育長挨拶

2 協議事項 議長：山口 忠友会長

- (1) 今年度の人権教育事業及び各委員からのご意見について
- (2) 同和問題の概要及び現状について

ビデオ視聴「シリーズ映像でみる人権の歴史

第2巻『江戸時代の身分制度と差別された人びと』

3 その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
山口会長	<p>○山口会長挨拶</p> <p>今日は、皆さんが日常活動している人権関係の事例、或いは、新聞を読んだりテレビを見たりして、日頃感じている人権について、いろいろなご意見を伺いたいと思っている。</p> <p>今の日本にも非常に多くの人権に関する問題があるように思う。最近だと、児童虐待である。圧倒的な力を持っている親が児童を虐待するという事は、本当にあってはいけないことだと思う。</p> <p>また、女性の社会参加ということは随分前から叫ばれているが、まだ日本では女性の持っている能力を十分に発揮する機会が十分に与えられていないという現実があると思う。これは、アジア諸国と比べても日本は非常に遅れているというのが現状だと思う。</p> <p>今日の2番目の議題の同和問題にしても、長年、学校教育でも行われているにもかかわらず、数年前の世論調査によると、今の日本の若い人たちですら、結婚や就職のときにそのようなことを調査し、それを避けることは仕方がないという考えを持った方が過半数という調査が出たことがある。</p> <p>そう考えると、第2次大戦以降、学校や社会の様々な場面で、人権教育が行われてきたにもかかわらず、いろいろな所で深い根っこが残っているという感じがする。表向きは、高層ビルが建ったり、高速道路ができたりして近代化したように見えるが、私たちが昔から持っている意識や心の問題がまだまだ払拭されていないということを感じる。そういう意味では人権問題というのは、私たち自身、心との闘い、意識との闘いではないかと強く思う。</p> <p>今日は、皆様方よりいろいろなご意見を伺えることを楽しみにしているので、よろしく願いしたい。</p>
西澤教育長	<p>○西澤教育長挨拶</p> <p>明日、公立高校入試で、明後日が学校によっては実技試験又は面接試験がある。さらに、今回、インフルエンザ等でやむを得ず受験できなかった子どもたちに対して、埼玉県では、3月5日に追試をやるというが、これは全国でもまだ数件ぐらいの取組だと思う。そして、3月8日には発表、翌日に卒業式ということで、たぶん、今が1年で一番忙しい時期だろう。入試の方法についても、最近は発達障害のある子が7～10%程度いる訳だが、受験に際して、例えば他の人と一緒に受けられないという場合には、個室を用意しなければいけない。自分で読むのが苦手な子の場合にはだれか大人の人が読んであげなければいけない。もちろんこれは医師の診断書や証明書があった上での対応なのだが、今は一人一人に対応した受験も出てきている。</p> <p>話は変わるが、2月21日に入間市の人権教育実践報告会を行わせて頂いた。PTA、学校、公民館の発表をして頂いた。委員さんの中でもご参加頂いた方もいらっしゃ</p>

	<p>やと思うが、その中で非常に現代的な課題に一生懸命取り組まれていると感じた。例えば、聴覚障害のある方とのコミュニケーションのために手話をみんなで学んでみようとか、障害のある人の問題、外国人の問題、それから、パラスポーツ・パラリンピックを契機に車いすバスケット等、パラスポーツを実際に経験してみようなどを企画している。今まではかなり人権に関しては人集めに苦勞をしていたわけだが、内容を現代的な課題にしたり、ワークショップやフィールドワークを実施というように工夫をしたりすると、100人近く集まる時代になってきた。</p> <p>そういったようなことを切り口として、人権教育を進めていく必要があるのかなと思う。特に、同和問題については、学校現場でも取り扱う時間が減って、意識が低くなってきたのかな、やはりこれではいけないなど、そんなことも今感じている。今日は、丁度、(2)でビデオ視聴もあるので、私たちも一緒に研修を進めながら、この推進協議会を実りあるものにしていければなどという気持ちである。それではよろしくお願ひしたい。</p> <p>2【協議事項】</p> <p>それでは協議事項に入る。(1)今年度の人権教育事業及び各委員からの意見について、事務局より説明願う。</p> <p>協議事項(1)について説明申し上げる。資料のP1をご覧頂きたい。それぞれ、各委員からの意見を伺えればと考えて項目を立てている。</p> <p>(1)人権教育事業の実施報告、実施計画についてということで、今年度実施した人権教育事業について、開催方法や内容等についてご意見を頂きたい。この後また説明するが、P2以降に今年度行った事業について載せてあるので、また、順を追って説明申し上げる。</p> <p>(2)だが、所属団体等における人権教育に関する事業について、学校、自治会等や個人の活動の中で、参加した人権事業があれば報告して頂きたいとお願ひしている。こちらは、市で行った事業以外に、学校や県で行っているものに参加してこういうことを感じた、こういうことがあったということが、もしあれば教えて頂きたい。</p> <p>(3)身の回りの人権課題について教えて頂ければということでお願ひをしている。こちらは、その他ということではないが、社会情勢の中で気になる所があれば教えて頂きたい。これに関して資料と同封したもので、前回頂いた意見(第2回の意見)も送らせていただいている。また、机上に、本日の会議に先立ち、頂いた意見もA3版にまとめてあるので、こちらもお覧頂ければと思う。</p> <p>今日お配りした資料の中で、1点訂正がある。矢口委員より頂いた(3)の身の回りの人権課題というところの上から3行目、「上下水道館」の「館」を「管」に訂正願う。</p> <p>資料のP2、社会教育課の人権教育事業報告について説明申し上げる。9月19日に人権問題講演会ということで、健康福祉センターを会場にLGBTをテーマとして講演会を行った。小林りょう子先生というLGBTの家族と友人をつなぐ会の方に来</p>
--	---

山口会長

林田主事

熊谷教育センター主幹	<p>ていただき、『いろいろな性 いろいろな生き方～カミングアウトとLGBT家族の課題』というタイトルで135名の方にお越しいただいた。感謝する。</p> <p>また、その後、人権教育現地学習会～フィールドワーク～ということで、栃木県足利市の障害者支援施設とワイナリーが一緒になっている「こころみ学園」・「ココ・ファーム・ワイナリー」というところに訪問した。46名の方にご参加頂いた。ご参加頂いた方に感謝する。また、人権啓発講座ということで、3回実施した。本年度は「北朝鮮当局による拉致問題」を新たに、これまでにやって来なかったことなのだがテーマとして取り上げて実施した。</p> <p>また、東京家政大の先生を呼んで、「子ども・障害者の人権」、それから、県の先生を呼んで「同和問題」の全3回、延べ125名の方のご参加を頂いた。感謝する。</p> <p>また、先日、人権教育実践報告会を博物館で実施させて頂いて、111名の参加を頂くことができた。併せて感謝する。</p> <p>社会教育課の社会教育に関する人権教育事業は、以上である。</p> <p>続いて、学校教育についてお願いしたい。</p> <p>資料のP3に書いてある内容を学校の教職員、児童生徒たちが取組を行った。7月27日の西部地区人権教育実践報告会が東松山市で行われ、そこでは分科会の中の一つで、今年閉園を迎える人間市のあずま幼稚園が発表を行った。最後の集大成として、子どもたちにどうやって他人を尊重する姿勢、思いやりを持つということの大切さを育てていくかについて報告があった。なお、来年度は、黒須小学校が分科会の一つで取組を発表してもらうことになっている。</p> <p>7月31日には、教職員対象に「狭山事件」について学ぶ現地研修会を行った。若手の教職員には、同和問題や狭山事件についてこの勉強会で初めて知ったという職員もいるので、大変意義のある研修会になった。</p> <p>11月、12月には小学校と中学校で授業研究会を実施した。11月には東金子中学校において、社会科の中で人権問題を取り扱った。12月には藤沢南小学校で特別活動の枠の中で人権感覚をどうやって育成するかについての授業研究を行った。本協議会の委員の方に当日来ていただき、研究協議やワークショップにも参加して頂いた。改めて感謝申し上げる。</p>
町田人権推進課副主幹	<p>P4、P5の人権啓発と男女共同参画関係についてポイントを絞って説明をさせてもらう。</p> <p>4月から5月にかけて、人権啓発パンフレットを作製・配布を行っている。各行政機関の窓口や人権標語の募集事業に合わせて、市内小学校5年生と中学1年生を対象に「こころのふれあい」という人権全般を書いたパンフレットを配布している。また、それを踏まえ、近隣13市町で審査を行った優秀な人権標語の内容を、こういった形のクリアファイルを作成し、配布している。</p> <p>次にP5をご覧いただきたい。(2)男女共同参画関係だが、毎年6月22日から29日までが男女共同参画週間ということから、市民ホールで啓発パネルを展示している。本年度は、女性の働き方や暮らし方をテーマに展示を行った。</p>

<p>林田主事</p>	<p>また、12月8日には男女共同参画セミナーで、人生100年時代と男女共同参画をテーマに辻イト子さんから、これまでの人生を振り返ってもらって自分らしく輝く秘訣について講演をして頂いた。市民活動センターで実施し、117名の方々の参加を頂いた。</p> <p>また、12月4日から9日、LGBT啓発パネル展というものを市民ホールで開催した。これは、入間市男女共同参画プランの中にも性的マイノリティに関する啓発が謳われていることから、実施しているものだ。</p> <p>また、通年を通じ、悩み事をお持ちの女性の方に「女性の悩み事相談」、また「法律相談」、「性的マイノリティの方のための悩みごと相談」を実施している。</p> <p>こちらからは以上である。これからは皆様方からのご意見を伺えればと思う。</p> <p>一つだけ付け加えさせて頂きたいことがある。先ほどお渡しした、第3回のA3資料の中に、大島委員のご意見の中で「西部地区人権教育実践報告会」の全体会で発表された作文の本文を配布資料への掲載を希望するというご意見を頂いたが、これは3月に入間地区の「人権教育」という広報紙に掲載されることになっているので、あらかじめお伝えしたい。こちらからの説明は以上である。</p>
<p>山口会長</p>	<p>それでは、協議事項(1)の下(1)(2)(3)を含めて、各委員さんからのご意見を一人2分ぐらいずつ伺っていきたいと思う。</p>
<p>笹尾委員</p>	<p>笹尾委員からお願いしたい。</p> <p>今日配付された資料の中に書いてあるが、私は、(3)の身の回りの人権課題について、特に、最近話題になっている子どもに対する虐待に関連して、「親の親権というのはどこまであるのか」或いは、「親の親権と学校」だ。この間の千葉県野田市で起きた事件も、結局、親の親権ということに押されて教育委員会や学校が十分に対応できなかったと聞いている。そのあたりの問題を入間市としてどのように対応していくのかというのが、これからの問題ではないかと考える。</p> <p>また、文科省からも「スクールロイヤー制度や警察OBと学校の間の相談体制を強化したい」と、この間文部科学大臣が言っていたが、法的な問題としては、スクールロイヤーの存在は必要かと思う。ただ、あまり教育と関係ないところで法律的にいろいろと示唆を頂いたり、警察の介入が生まれるということは心配な点でもあるので、そのあたりも含めて、親と学校との対応を、少しでも市の教育委員会として検討しておいた方がいいのではないかと考えて挙げさせてもらった。</p>
<p>山口会長</p>	<p>どうもありがとう。各家庭の問題とか、警察とか、それとどういうふうに関係していくのかというのは、確かに難しい問題だ。</p>
<p>寺岡委員</p>	<p>寺岡委員お願いしたい。</p>
<p>山口会長</p>	<p>テーマの提案みたいなものでよろしいか。</p>
<p>寺岡委員</p>	<p>結構である。</p>
<p>寺岡委員</p>	<p>昨今、人権に絡む痛ましい事件が非常に多い。年間を通じて時事に関する問題なども、ある程度時間を取って系統的にやった方がいいかなと思っている。</p> <p>おととい、渋谷区の児童養護施設の施設長が殺害された事件と関連して、「インタ</p>

	<p>一ネット上では児童養護施設の生徒というのは愛に飢えているから、凶暴になるのかな」という話題がたくさん出ており、非常に心を痛めている。見えない偏見がいろいろな所にあるというのが、いぶり出されてきているという気がする。</p> <p>青山の住宅地に児童相談所を造ろうとしたら住民全部が反対したということがあった。皆は口には出さないが、「そういうところの子供が事件を起こしたらどうしよう」という偏見が厳しいということに心を痛めている。</p> <p>入間市に関しては、小・中で養護施設から通う児童生徒がいるかどうか分からないが、おそらく高校になると何人かはいると思う。それで、「あの人はそういう施設から通っているから」という偏見を受けないかというのが、こういうニュースの後に懸念される。親にもそういった偏見があるかもしれないし、そのような偏見を払拭するような教育をプログラムの中に入れなければならなくなってきたのではないかと思う。</p>
山口会長	<p>今後のテーマの可能性として検討させて頂きたいと思う。</p>
	<p>次に、橋野委員お願いしたい。</p>
橋野委員	<p>今年度、私は初めてこの人権教育推進委員に入らせて頂いた。私は初めて委員として参加させてもらったので、自分なりに、まずは勉強させてもらいたいということで、できるだけいろいろな所に参加させて頂ければと思った。現地に行ってみたりとか、座学で勉強したり、人権とはたいへん広い視野で考えていかなければいけないのだなと感じた。</p> <p>まず、自分として何ができるのだろうと思ったときに、一人でも多くの人を誘って人権意識をもってもらうことが大事だと思った。意識があって初めて活動・行動に移せるものである。できるだけ多くの友だちを誘って、1年間勉強させてもらってきた。自分もまだまだ勉強不足なのだが、また来年勉強させてもらって、一人でも多くの人に人権ということ、人の生き方を考えていける場を持ってもらえたらなというふうに考えている。</p>
山口会長	<p>ご意見どうもありがとうございます。次に矢口委員お願いしたい。</p>
矢口委員	<p>私も今年初めて委員をさせて頂いた。人権について私は今までに考えたことがなかったなということを感じた。委員になった時に、ベビーシッターをしていたが、様子を見ていると、今、赤ちゃんはものすごく厳しい立場に置かれていることを痛感する。何とかしたいと思ったのだが、人権のことを考えたことがなかったので、まずは勉強させて頂きたいと思い、本協議会委員に応募した。</p> <p>この1年間いろいろ見させて頂いて、人権について知ること、差別や人間の意識がどういう世の中をつくるのかということ、すごく学ぶことができたと思う。</p> <p>昨年5月から発達障害のあるお子さんの放課後デイサービス、学校が終わってから2時間程だが、お子さんのお世話をし、ご自宅へ送り届けるという仕事をしている。その中で、発達障害のあるお子さんたちを支援する研修があり、そこで発達障害のことを学び、発達障害のあるお子さんたちが本当にこんなに大勢いるのだろうというところ、何でこんなことになってしまったのかなというところを考えさせられ</p>

た。

それから、発達障害を取り巻く環境というのか、先ほどの児童相談所の問題もあるが、発達障害のあるお子さんたちの住んでいるところは、今は、国の施設に集約されるのではなく、各自が家庭、親元で育てましょうという方向に進んでいるわけなのだ。私が見ているお子さんたちも、マンションの中で普通に暮らしているが、そのマンションの周りの方たちの中にも、私たちの送迎の車が来ることを快く思わない方がいるのだ。そういうことに会って、発達障害のあるお子さんたちは、本当はすごくかわいそうな立場にあるのだと感じる。高校生になっても話もできない、生活の態度とかも自分で選ぶこともできない、そのような子たちのことを、どうして皆さんが冷たく言わなくてはいけないのかなとすごく思っている。

私が子供に興味を持ったのは、自分の孫ができてからだ。何故、子供を産んで大事に育てていくのかというと、子供に未来を感じる、将来的なものがあるからである。そこに受け継がれる自分たちの文化をやはりずっと大事にしていきたいし、大事にしていってくれるような子供達を育てていきたい。人間的な人格を本当に育てるために人権を学ばなければいけないのではないかなと痛切に思っているところだ。

こちらで、いろいろと課題を用意し、勉強させて頂き、こういった場でお会いした方々の前で意見をお伝えできるということは、すごくありがたいことだと思っている。

手を挙げて委員にさせて頂いた以上は、自分の感じたことも皆さんにお伝えしたいと思い、いろいろなことを書いた。やはり、権利と義務というのは併せ持ったものだと思う。一人一人が全く別の人格を持っているなかで、一つの世の中に暮らさなくてはならないので、そのためにはお互いの立場に立って考えられるようになるということがすごく大事なのだと思った。私たちはこの1年間意見を交換し合い、譲り合いながらやっと、意志する所にこぎつけた状態だ。大人になってしまっただけでもまだまだ分からないことってたくさんあるのだと思う。これからもそういう勉強会を企画して頂き、人間を育てるといふか、人間性を磨く機会をたくさん作って頂けたら嬉しいと思う。

山口会長

子供さんたちの現場をご覧になっての貴重なご意見だった。ありがとう。次に手島委員お願いしたい。

手島委員

今回、人権教育事業の講演会とかいろいろ出たのだが、私の年代というのは、学校で人権教育を受けたという記憶が全然ないのだ。会社に入って何年かして、人権問題イコール同和問題ということで、毎年のように教育を受けてきた。

今回人権教育事業の講演会とか学習会、それから先日あった実践報告会を聞いて、学校を中心とした多くのところで様々な人権教育をしているなというのが、一つの驚きでもあった。やはり、私と同じ年代かそれより少し下の年代は、会社で人権教育＝同和教育というように聞いているくらいで、全然わかっていないというのが現状なのだ。

そういうところは、ある意味仕方がないが、やはり学校でどう教育するかというこ

山口会長 山田委員	<p>とが大事なのかなというのが今回いろいろ聞いて思ったところだ。</p> <p>この協議会のテーマということだったが、人権教育事業ごとにアンケートを取られているということなので、その中で特にこの協議会で考えるような問題提起があるかということをお知らせいただき、協議事項にしたらどうかと感じた。事務局は大変と思うが考えてみてほしい。</p> <p>どうもありがとうございます。山田委員お願いしたい。</p> <p>入間市の身体障害者福祉会から委嘱されて来ている。人権問題というのはわりとたくさんあるはずなのだが、身体障害者の会の構成する者が非常に若い人から高齢者までいるので、問題を一つに絞るといことがない。現在、活動の主なところは、お互いが知り合って仲良くというか、親睦を図るといことがどちらかという主体になっているので、個々の事案でこういうことがあったかというの、なかなか集約されて上がってこない。</p> <p>一応会長とも話したのだが、今これと言ってお話するようなこともないかなということなので、こういう問題がある、こういうことがあるという具体例がない。どちらかという、会員全体のいろいろな年齢層・男女があるが、そういう人達の一つにまとまってレクリエーションのようなことをやるのが重視されているのだ。</p> <p>本当は人権問題を一番感じている人がいるはずなのだが、今はこれといった事はないものだから、せめてこういう協議会に誰かが出ていけば、自分たちに問題が起こっても、或いは問題があることを聞いても役に立つことがあるだろうということ、こゝやって参加させていただいている。</p>
山口会長 大島委員	<p>現在のところは、人権問題でという話ではできないが、そのような活動をしている。</p> <p>どうもありがとうございます。おっしゃられる通りだと思う。次に、大島委員お願いしたい。</p> <p>私は、男女共同参画審議会から出ている。先ほど矢口委員のほうから発達障害の方のお話があったが、私は違った経験をした。</p> <p>それは、自治会の班長をしているときに、提出物を出さなければいけないことがあった時の話だ。提出日に提出できないというお母さんから、「私は仕事で来られないけれど、子供に持たせるからね。」ということだった。その時に一言、「うちの子供は発達障害なのよね。」とおっしゃった。そうしたら、誰も何とも言わずにそのままずっと受け入れることができた。提出日の当日に提出に来た子供さんは、何も言わないでただ持ってきた。しかし、受け入れる我々が事前にお母さんから話を聞いているものだから、「〇〇さんの家のお子さん？はい、ありがとうございます。気をつけて帰ってね。」という、やさしい言葉をかけてあげることもできて、素直に受け取ることができた。私たちにすると5・6人だったが、誰もそのことについて触れなかった。</p> <p>私は、発達障害についてもどういものなのか、全然その子供さんの症状など分からないが、それでも、誰でも素直に受け入れてくれる。その子のお母さんが素晴らしいと思ったことは、自分の子どものことを正直に打ち明けたことだ。それはなかなか言えないことだと思う。あらかじめ言ってもらえると、素直に受け止めて「ああそうなの。大変ね。」と受け入れやすい。そういう心は皆あると思うのだが、母親が言</p>

	<p>ってくれてよかったと私は思った。お母さんがおっしゃるには、「お兄ちゃんが病気だから、妹はお兄ちゃんの面倒を見る。私が大きくなったら、お兄ちゃんの面倒を見るのだ。」と言ってくれたとのことである。この家族の素晴らしさ、それと同時に、どちらかと言うと大威張りで言える部分ではないかもしれないけれど、私だったら言えないだろうと思うのだ。「病気のよ」と発信をするということができたら、その方の気持ちも軽くなるけれども、私たちは手伝いをしたくても余計なことを言えないから手伝いができないのだ。「これお願い」と言われたらやれると思うので、何かそういう教えがあったらいいなと常々思っている。</p> <p>人権というあまり難しい言葉にこだわらなくても、皆さんは割と素直に受け入れてくれると思う。</p>
<p>山口会長 齊藤（俊） 委員</p>	<p>ご意見どうもありがとうございます。次に、齊藤俊明委員お願いしたい。</p> <p>私は、商工会のほうから選出されてこの協議会に参加させてもらっている。5年目になるが、委員になった当初は、あまり人権について考えたことがなかったので、いろいろなことを吸収しようとか勉強しようという意味で、市の事業やいろいろな事業に参加させて頂いた。</p> <p>商工会から参加しているが、実は私の会社は商工会の一会員に過ぎず、理事をやっているわけでもないので、商工会全体の事業についてはオブザーバーという形では意見は言えても、執行委員としての意見は言えない立場にいる。</p> <p>私は商工会長から直に頼まれて、参加させてもらっている。</p> <p>(3)の身の回りの人権課題であれば、最近、大津のいじめの問題で裁判の結果が出たし、千葉の児童の痛ましい事件があった。自分が人権と言われた時に、今まで5年間考えてきた結論は、「人権とは人格を尊重する」ということだと思う。他人の人格を尊重するという事は、他人の立場に立って考えてみることだ。それができるかできないか。他人の立場に立つには、「想像力」が必要なのだろうと思う。</p> <p>自分も子供の頃、人権教育を受けた記憶はない。学校の先生に言われた他人への思いやりを、いざ社会に出て実践しようとする時、「そんなのは理屈だよ」とか、「そんなのは通らないよ」とか、「社会では違うのだよ」とか、さんざん言われた。でも、何十年か経ってみて、社会が変わってきた。つまり、自分たちが社会をリードする立場に立ってきて、社会が変わってくるし、今、子供達に人権を教えることによってもっと人権について大事にするような社会になっていくのだろうと思う。</p> <p>だから、一番大事なことは、やはり教育だろう。人権教育を通じて人権に対する考え方を身に付ける。社会に出ると多少それがふらつくが、それが根っこにあれば必ず良くなっていくのではないかと期待している。</p>
<p>山口会長 齋藤（勝） 委員</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。次に齋藤勝久委員お願いしたい。</p> <p>児童虐待で皆さん心を痛めておられると思う。国の方もずいぶん動いているような感じがする。テレビで見ていると、今回の千葉県野田市で起きた事件で、国も動き始めているのかなと思っている。そういう問題を、今後、おそらく国から県、そして市へくると思うので、人権教育推進協議会の問題だけではないと思うが、やはり市全体</p>

山口会長
篠塚委員

で考えていかななくてはいけないと思う。それをどのように持っていくかというのが、これからの課題だと思う。子どもに対する権利だとか虐待だとかということについては、私も心を痛めているところだ。

もう一つは、目に見えない生活困窮者について、私はフードバンクのお手伝いをさせていただいている。その中で、今まで経験したことのないような状況の方が大勢いるということを改めて知った。一人暮らしの方、或いは30代・40代の方で子供もいて、電気やガスが止まってしまった方もいる。最後のつなぎの水道だけしか今のところ使えないというような方々もいるようだ。このような目に見えない生活困窮者がいるが、これも生きていく権利ということを考えると、やはり人権の問題かなと考えられるので、そのようなこともこれから考えていかななくてはいけないのかなと思うことだ。

私は、区長会から出させて頂いているのが、自治会で人権の問題を教育するという事はなかなか難しい。しかし、何かの機会に人権の出前事業を、是非、各自治会或いは大きな団体に働きかけ、やっていけたらいいと思っている。是非、協力願って自治会としても人権教育に取り組んでいければよいのかなと思っている。

どうもありがとう。最後になるが、篠塚委員お願いしたい。

まず、児童虐待の話が出てきたが、学校では、最近、以前に比べると、虐待の関係で児童相談所の方から学校の方に子どもを預らせてくださいというケースが増えてきている。本校に限らず、これは全国どこでも同じかと思う。以前は、近所の方からの通報が殆どだったのだが、最近は近所の方よりも、子ども自身から「助けてください」という通報があったり、母親から「助けてください。お父さんが大変なのです」という通報があったり、家族の中からの通報が多くなってきていると思っており、喫緊の課題なのかと学校の中において感じている。

それと相反するのだが、虐待と真逆で過保護すぎる家庭もすごく多くなってきて、子供が弱くなってきていると思うこともある。ちょっとトラブルがあると、立ち直れなくなってしまったり、そういう弱い子供が増えてきていると思う。昔から言われていることだが、悪いことをしたときには、しっかり厳しく叱ってあげて、良い事があったときには、しっかりと褒めてあげる、そういうことが家庭でも学校の中でもやっていくことがすごく大事だと思っている。

新しい学習指導要領が始まったり、国からいろいろなことを言われたりするが、現場の中にいると一番大事なことは昔と変わらないのかなと思う。最終的には「教育は人なり」なのかなと思っている。どんなに知識をもっている教員であっても、それよりも人となりがしっかりしている教員の方が、しっかりと学級経営ができるし、子供も先生についていくし、保護者の信頼は厚いものがある。その人となりをどういうふうに育てていくのかというのが学校長としての一番大きな役目なのかなと思っている。

本校もそうだが、若い教員が増えている。10年ほど前までは、逆にベテランの教員が多く、若い教員が少なくて、子供と遊ぶ教員が少ないと言われていたが、最近は

その逆で、20代・30代の教員が圧倒的に多く、ベテランの教員が少なくなってきた。良い面もあるが、昔から子供とともにやってきたベテランの教員のノウハウを如何に若い教員に伝えていながら学校を一枚岩にしていくかが、大きな課題なのかなと思っている。

先ほどから発達障害のご意見をいただいたのだが、まさにその通りで、発達障害を抱えていて友達との関わりが上手に取れないお子さんが大変増えてきている。担任だけではなかなか対応しきれず、市内の学校では通級指導教室で発達障害を抱えているお子さんを教室から別の部屋に移動して、専門の先生が関わり方をマンツーマンで教える。そういう先生が学校に配置されている。本校でも通級指導教室担当の教員がいて、全校の発達障害のあるお子さんを把握しながら、保護者と連携を取りながら別室で関わり方を教え、関わり方のノウハウがわかるようになったら通常の学級に戻ってもらう。1週間の中で1時間か2時間なのだが、そういうことをやっている。

通級指導教室の担当の教員は、本校では特別支援教育コーディネーターという役割を担っていて、保護者の相談や担任の相談、校長へのアドバイスをやっている。非常に専門性の高い教員だが、その通級指導教室の担当教員がそのような役割を担いながら学校全体をよく見ている。保護者からの相談があるとき、担任の先生は忙しく、時間を取って相談するのは非常に難しい。特に、授業中に電話があってもそういう対応をすることができない。しかし、通級指導教室のコーディネーターだと、保護者からの連絡があった時、すぐに親身になって相談にのり、「こういう対応を取りますのでどうですか」とか、「じゃ、学校に来てお話を聞きますね」とか、そういうやりとりをする役割を担っている。本校の中でも本当に一番大事な教員は誰かと言われたら、担任以上にコーディネーターの教員であり、組織的に対応していくことがすごく重要だと思っている。

もう一点、私が西武小学校に着任して、一番驚いたのは、地域が昔ながらの良さを残しているということである。着任をしてから、毎朝地域をまわるよう努力しているが、その時にいろいろな方々が声をかけてくれてびっくりした。黄色い旗を持って地域内を歩いているだけで、ベランダの2階から「ご苦労様です。よろしくお願ひします。」とか、窓を開けておばあちゃんが、「ありがとうございます」とか言ってくれて驚いた。昔ながらの地域を大事にしながらやっていく地域なのかなと思っている。自治会長さんも、よく学校にいらっしゃって、「子供のことにちょっとついてお話ししたいのだけれど、校長先生時間が取れますか」と話をしに来て、校長室で相談をしていく。それから、先日はある地域で、子ども広場の窓ガラスが割られたということがあった。その情報は学校にすぐに入ってきたのだが、私が気づいたときにはすでに自治会長さんが全部直してくれていた。私が自分の学校の子供がやったことなので謝りに行ったところ、自治会長から、「校長先生、そんなこと必要ないですよ。地域の子供がやったのだから自治会が直すのが当たり前じゃないですか。校長先生が謝ることは全くないですから。大丈夫ですよ。」という言葉が返って来たのだ。それにも驚いた。

<p>山口会長</p>	<p>これから人権問題をやっていくときに、地域と学校がどう連携を取りながら子供のために動いていくか、それをどうコーディネートしていくのか、学校が中心でやるのか、地域が中心でやるのかというのは、地域によっては違うと思うが、その点がすごく大事なのかなと思っている。西武小学校は児童数が700名を超える大所帯だ。発達障害を抱えている子供もたくさんいるが、みんなが優しい雰囲気がある。それは、職員以上に地域を含めた中で子供達を見守っていく、そういう体制ができているからなのかなと思っている。学校としての役割も、これからは自分の学校と地域とうまく協力をし合いながらやっていくことが大事なかなと感じているところだ。</p> <p>学校の状況をご説明頂き、ありがとう。</p> <p>本来であれば、もう少し皆様のご意見をベースにお互いに意見を交換することが望ましいと思うのだが、予定の時間を過ぎてきたので、第1番目の議題はこれで終了させていただきたいと思う。</p> <p>それでは、第2番目の「同和問題の概要及び現状について」事務局の方からご説明願う。</p>
<p>林田主事</p>	<p>まず初めに、DVDを用意しているのでご覧いただきたいと思う。</p> <p>ビデオ視聴「シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻『江戸時代の身分制度と差別された人びと』（15分） <ビデオ視聴終了後></p> <p>同和問題の概要及び現状についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 P7 法務省：「部落差別解消推進法」について ・資料 P8 身分制度の学習を指導する際の留意事項 ～小・中学校社会科（歴史学習）における同和問題学習の扱いについて～ 埼玉県教育委員会 ・資料 P9、P10 戸籍不正取得事件について 部落解放同盟大阪府連合会ホームページより ・戸籍の不正取得に際しての対応策として 資料 P11、P12 本人通知制度について 本人通知制度の申込書について <p>時間が少々過ぎてしまっているが、事務局からの説明は以上である。よろしくお願</p>
<p>山口会長</p>	<p>どうもありがとう。先ほどのビデオを観て或いは今の事務局からの説明を聞いて、何か意見とか質問とかはあるか。</p>
<p>橋野委員</p>	<p>橋野委員いかがか。</p> <p>どういういきさつで、こういった流れで同和問題ができてきたかというのを教えて頂けて良かった。現在でもなおかつ、結婚や就職などで、問題になっているようだ。そのあたりがよく分からないのだが、やはり問題になっているのだろうかと思う。</p>
<p>山口会長 齋藤（勝）</p>	<p>齋藤勝久委員いかがか。</p> <p>私も、人権教育を昔受けただけだが、その頃受けたものでは歴史については聞いた</p>

委員	<p>ことはなかったので、何をやるにも歴史から遡って現状把握や解決をしていくことが大事だとつくづく思った。</p> <p>同和問題のことは今から何十年前に聞いて、それからはずっとかかわることはなかったが、そのときは今聞いたような江戸時代の話を理解するまでに至らなかったもので、今日ビデオを観て理解できて良かったと思った。勉強になった。ありがとう。</p>
笹尾委員	<p>質問してもよいか。</p>
山口会長	<p>はい、どうぞ。</p>
笹尾委員	<p>P8 の教育のところについて質問したい。実際に教育の現場で、同和問題とか部落問題という言葉を使って教育するのか。篠塚委員いかがか。</p>
篠塚委員	<p>小学校では P8 の社会科のところに書いてあるとおり、社会科の歴史の中で、「昔は差別をされていたけれども、その役割は社会に対してしっかりした大きな役割を担っていて、その差別は許されるものではない」と扱うことが多いのかなと思う。</p>
笹尾委員	<p>身分制度そのものについて、江戸時代にはこういうことがあったということを見せてもらい、非常に参考になったのだ。あのよう教育してもらいたいと思った。</p> <p>なぜ小学校で「えた」「ひにん」を使わないかというのが、中学になったら使うのか、私が子供の頃は、「えた」「ひにん」という言葉を習う前に、「土農工商」という身分があることを先に習う。そうすると、「えた」「ひにん」とは何だ、これとは別なのかということが非常に印象に残った覚えがある。</p> <p>それともう一点、同和問題学習のねらいというところで、「同和問題の科学的認識」というものがあるが、どういうことか。小・中両方にあるのだが、この「科学的認識」というのは何なのか。</p>
林田主事	<p>この「科学的認識」というのは、「理科学」ということではなく「社会科学」という側面によるものであり、イメージのみで話をするというのではなく、実際にしっかりと研究した上で、歴史的な経緯がどのようなようであったのかということを経験科学的に、間違いの無いような形で話を進めていってほしいということになるかと思う。</p>
笹尾委員	<p>ありがとう。この DVD の内容のような話を子供達に教えたほうが良いのではないかと思う。人権問題として取り上げると、同和教育と部落問題という言葉はかえって差別用語となるような気がする。</p>
山口会長	<p>どうもありがとう。できるだけ皆様のご意見をお伺いしたいと思うが、今日は特に予定の時間を過ぎているので、第2の協議事項をこれで閉じたいと思う。</p> <p>それでは、その他、事務局の方から何かあるか。</p>
関谷主幹	<p>人権教育 DVD については、既に購入している。「おはよう！ゴミありませんか？」と「むしむし村の仲間たち」という小学校低学年向けのものだ。これは、各学校に貸し出しをして、授業等で見て頂くものであり、既に学校で回覧等を始めている。本来であれば皆様のご意見を頂いて購入すべきところではあるが、既に購入をしているということで、ご報告をさせて頂く。</p>
山口会長	<p>どうもありがとう。それでは、これで今日の協議事項はすべて終了し、私の議長の任を解かせていただきたいと思いますと思う。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

議長 の 署 名 _____